

LABIO 21

Japanese Society for Laboratory Animal Resources

LABIO 21 総索引

〈No.73～No.96〉

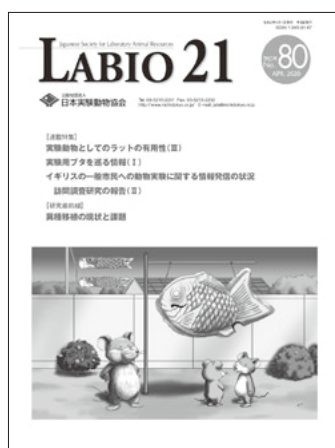
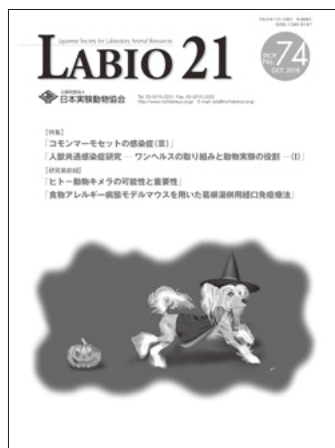


公益社団法人

日本実験動物協会

(公益社団法人日本実験動物協会情報誌 LABIO 21 第97号付録)

令和8(2026)年1月発行



巻頭言

第52回日本実験動物技術者協会総会

～熊本大会2018～の開催にあたって(野口和浩) — 4

特集 教育セミナーフォーラム2018 「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準解説書」改訂の背景並びに基準の適正な理解と運用のために —

1. 動物愛護管理法の沿革(序章)並びに準用及び適用除外(第5章準用及び適用除外)の解説(川越匡洋) — 5

2. 基準改訂の背景と今後の展望

実験動物の飼養及び保管等に関する基準解説書の作成にあたって(序章)(八神健一) — 6

3. 基準の適正運用と解説書の活用

3-1 一般原則、基本的事項及び用語の定義の解説

第1章 一般原則(喜多正和) — 8

第2章 定義(久和茂) — 9

3-2 共通基準の解説(第3章共通基準)(國田智) — 11

3-3 個別基準の解説(第4章個別基準)

3-3-1 実験等を行う施設の運用に関する解説(三好一郎) — 12

3-3-2 実験動物を生産する施設の運用に関する解説(外尾亮治) — 15

特集 コモンマーマーモセットの感染症(Ⅱ)

臨床現場の治療症例と感染症モデル(片貝祐子) — 18

特集 宇宙における動物実験(Ⅱ)

メダカを用いた微小重力下における骨量減少

メカニズムの解明(工藤明) — 23

研究最前線

ネズミノロウイルス受容体の発見(片山和彦) — 27

ラボテック 技術紹介

保存期間が実験動物用飼料の栄養成分値におよぼす影響

(日本実験動物飼料協会) — 34

海外散歩

インドネシア 世界遺産 — ボロブドゥール遺跡 —

(日柳政彦) — 36

活動紹介

東海実験動物研究会(二上英樹) — 41

静岡実験動物研究会(石川智久) — 42

日本実験動物学会の動き — 43

日本実験動物協同組合の動き — 43

日本実験動物技術者協会の動き — 43

協会だより — 45

KAZE(森村栄一) — 46

巻頭言

日動協による実験動物福祉事業の過去・現在・未来

(佐藤浩) — 4

特集 コモンマーマーモセットの感染症(Ⅲ)

マーマーモセットの下痢症と消化管内微生物(井上貴史) — 5

特集 人獣共通感染症研究

— ワンヘルスの取り組みと動物実験の役割 — (Ⅰ)

ワンヘルスの概要(山田章雄) — 9

研究最前線

ヒト—動物キメラの可能性と重要性

(正木英樹、中内啓光) — 13

食物アレルギー病態モデルマウスを用いて新たに

見出した葛根湯併用経口免疫療法の根本的治療法としての

提案(山本武) — 17

海外文献情報

遺伝的浮動(genetic drift)と動物実験の再現性

(久原孝俊) — 21

トピックス

実験動物マウスリソース事業の進捗(吉木淳) — 24

海外散歩

スペイン カタルーニャ訪問記(山田章雄) — 28

私の研究

薬物依存になりやすいマウス(新田淳美) — 33

ラボテック 技術紹介

実験動物用X線CTラシータLCT-200のご紹介

(木村真輔) — 36

読者との対話 LA-house(高倉彰) — 39

ほんのひとりごと — 40

活動紹介

東北動物実験研究会(三好一郎) — 41

岡山実験動物研究会(国枝哲夫) — 42

日本実験動物学会の動き — 43

日本実験動物技術者協会の動き — 43

平成30年度認定実験動物技術指導員及び準指導員 — 44

協会だより — 45

KAZE(岡村匡史) — 46

巻頭言

年頭所感(吉川泰弘) ————— 4

特集 コモンマーモセットの感染症(Ⅳ)

コモンマーモセットの腸管病原性大腸菌感染症
(林元展人) ————— 6

特集 人獣共通感染症研究

—ワンヘルスの取り組みと動物実験の役割—(Ⅱ)
フィリピンでの狂犬病撲滅への取り組み(西園晃) ——— 9
ワンヘルスの理念と人獣共通感染症制圧への取り組み: ザン
ビアでの活動(鈴木定彦) ————— 14

特集 NOGマウス(Ⅰ)

NOGマウス概論(伊藤守) ————— 19

海外文献情報(久和茂) ————— 23

海外散歩

北の地に生きる動物たちの姿を求めて ~ アラスカ ~
(八神和江、八神健一) ————— 25

ラボテック 技術紹介

マイクロチップとは? 動物用電子標識器具の現在
(福島正晴) ————— 30

連載シリーズ 実験動物産業に貢献した人々(26) — 33

・小澤利一
・依田八治

読者との対話 LA-house(高倉彰) ————— 34

ほんのひとりごと ————— 35

活動紹介

琉球実験動物研究会(鈴木真) ————— 36
SHR等疾患モデル共同研究会(家森幸男) ————— 37

連載コラム 「特例認定校出身の実験動物技術者紹介」(Ⅰ)

特例認定校卒業生として(堀真美) ————— 38
長野県上伊那農業高校とオリエンタル酵母工業(株)
伊那MPセンターの業務の紹介(清水悠創) ————— 39

特例制度を利用した実験動物2級技術者取得から
技術指導員認定まで(村松大介) ————— 40

日本実験動物学会の動き ————— 42

日本実験動物技術者協会の動き ————— 42

平成30年度実験動物技術者資格認定試験結果 ————— 43

日動協: 教育セミナーフォーラム2019のご案内 ——— 44

協会だより ————— 45

KAZE(久原孝俊) ————— 46

巻頭言

第66回日本実験動物学会総会の開催にあたって
(小野悦郎) ————— 4

特集 人獣共通感染症研究

—ワンヘルスの取り組みと動物実験の役割—(Ⅲ)
SFTS研究と動物実験(下島昌幸) ————— 5
炭疽菌感染の現状と予防対策(東秀明) ————— 9

特集 NOGマウス(Ⅱ)

NOGマウスとがん研究(片野いくみ、高橋武司) ————— 12

海外文献情報

実験動物の絶食に関するガイドライン(久原孝俊) ——— 16

トピックス

NC3Rs Guidelines: Non-human primate
accommodation, care and use
非ヒト霊長類の住居、ケアおよび利用(抄訳)
(八神健一、片貝祐子) ————— 18

海外散歩

百済遺跡巡りと韓国の食を楽しむ旅(三枝順三) ————— 26

ラボテック 技術紹介

書評「マーモセットマニュアル — はじめての取り扱いから
研究最前線まで —」(中務胞、三浦詩織) ————— 31

連載シリーズ 実験動物産業に貢献した人々(27) — 34

・赤松暁

読者との対話 LA-house(高倉彰) ————— 35

活動紹介

日本実験動物環境研究会(黒澤努) ————— 36
TSOD(肥満・糖尿病)マウス研究会(常山幸一) ——— 38

連載コラム「特例認定校出身の実験動物技術者紹介」(2)

特例認定校卒業生として(伊藤達也) ————— 39

日本実験動物学会の動き ————— 40

日本実験動物技術者協会の動き ————— 40

実験動物技術者試験を受験して(相澤直希、新垣美智子、
佐久間理子、西美咲、中澤博美) ————— 42

協会だより ————— 45

KAZE(新関治男) ————— 46

No. 77

令和1(2019)年7月1日発行

巻頭言

理化学研究所 バイオリソース研究センター長に就任して
(城石俊彦) ————— 4

日本実験動物技術者協会理事長に就任して(伊藤恒賢) — 5
第53回日本実験動物技術者協会総会の開催にあたって
(矢田範夫) ————— 6

故 夏目克彦氏に永遠のお別れを(黒澤努) ————— 7

特集 教育セミナーフォーラム2019 (I)

動物実験規程に基づく教育訓練 — その現状と課題 —
飼育受託機関における飼育管理者を対象とした教育訓練
(椎橋明広) ————— 8
ブリーダーにおける動物生産従事者を対象とした教育訓練
(山本英明) ————— 9
製薬企業における創薬研究者を対象とした教育訓練
(渡邊利彦) ————— 11

特集 人獣共通感染症研究

— ワンヘルスの取り組みと動物実験の役割 — (IV)
ダニ媒介性脳炎: 国内の現状と動物モデルを用いた病態発現
に関する研究(好井健太郎) ————— 14
エキノコックス研究と動物実験(安居院高志) ————— 18

特集 NOGマウス (III)

NOGマウスとヒト免疫疾患研究(伊藤亮治) ————— 22

トピックス

動物実験に対する一般市民の認識と今後の情報発信
(打越綾子、笠井憲雪) ————— 26

海外文献情報(久和茂) ————— 32

ラボテック 技術紹介

わたし流環境エンリッチメントの考え方(富田久志) ————— 34

連載シリーズ 実験動物産業に貢献した人々(28) — 37

・平澤和男

活動紹介

老化促進モデルマウス(SAM)学会(細川昌則) ————— 38
ナショナルバイオリソースプロジェクト「ラット」
(守田昂太郎) ————— 39

連載コラム 特例認定校出身の実験動物技術者紹介(3)

特例認定校卒業生として(清水若葉) ————— 40
特例認定校出身の技術者として
— サル類のプロフェッショナルを目指して — (中野望) — 41

ほんのひとりごと ————— 42

日本実験動物学会の動き/

日本実験動物協同組合の動き ————— 43

日本実験動物技術者協会の動き ————— 44

協会だより ————— 45

KAZE(山田章雄) ————— 46

No. 78

令和1(2019)年10月1日発行

巻頭言

実験動物関連産業の今後の課題について
(中川真佐志) ————— 4

特集 教育セミナーフォーラム2019 (II)

動物実験規程に基づく教育訓練 — その現状と課題 —
大学における学生・研究者を対象とした教育訓練
(三好一郎) ————— 5
研究機関における特殊動物取扱者を対象とした教育訓練
(中村克樹) ————— 7

特集 NOGマウス (IV)

NOGマウスとエイズウイルス研究(小柳義夫) ————— 8

特集 実験動物としてのラットの有用性 (I)

連載にあたって(庫本高志) ————— 12
ナショナルバイオリソースプロジェクト「ラット」
(NBRP-Rat) の紹介(浅野雅秀) ————— 13
免疫不全ラットの開発と利用(山内祐子、吉見一人、
真下知士) ————— 17

トピックス

自治医科大学先端医療技術開発センターの先進的取り組み
(國田智) ————— 21
「愛玩動物看護師法」成立までの道のり(横田淳子) — 26

WHHLウサギの歴史と研究成果の臨床応用

(塩見雅志) ————— 30

海外散歩

憧れのモロッコ 7つの世界遺産感動物語10日間(その1)
(前理雄) ————— 35

読者との対話 LA-house(高倉彰) ————— 38

活動紹介

新たな任意団体・実験動物福祉コミュニケーションの活動に
ついて(笠井憲雪) ————— 39

連載コラム 「特例認定校出身の実験動物技術者紹介」(4)

特例認定校卒業生として — 実験動物技術者としての原点 —
(村田龍介) ————— 40

2019年度認定実験動物技術指導員及び準指導員 — 41

ほんのひとりごと ————— 41

日本実験動物技術者協会の動き ————— 42

日本実験動物学会の動き	43
消費税率引き上げに伴う価格改定のお知らせ	44
協会だより	45
KAZE (日柳政彦)	46

日動協：教育セミナーフォーラム2020のご案内	42
2019年度実験動物技術者資格認定試験結果	43
協会だより	44
KAZE (大和田一雄)	46

No. 79 令和2 (2020) 年1月1日発行

巻頭言

年頭の挨拶 (福田勝洋)	4
--------------	---

猪貴義先生を偲んで (関口富士男)	5
-------------------	---

連載特集 NOGマウス (V)

ヒト化肝臓TK-NOGマウスによる薬物動態研究 (上原正太郎、末水洋志)	6
---	---

連載特集 実験動物としてのラットの有用性 (II)

広がりをもせるゲノム改変ラットの開発 (吉見一人)	11
食餌誘導性の高脂血症・心血管疾患発症モデルラット (朝比奈誠)	16

トピックス

動物愛護管理法改正2019を巡る動きと今後の対応 (浦野徹)	20
日本実験動物飼料協会の成り立ちと活動 (金子哲也)	21

研究最前線

エボラウイルス制圧にむけて (渡辺登喜子、河岡義裕)	25
-------------------------------	----

連載特集 イギリスの一般市民への動物実験に関する情報 発信の状況 訪問調査研究の報告 (I)

一市民へ動物実験の理解を促す活動団体“UAR” — (加隈良枝、久原孝俊、笠井憲雪)	30
---	----

海外散歩

憧れのモロッコ 7つの世界遺産感動物語10日間 (その2) (前理雄)	33
--	----

連載シリーズ 実験動物産業に貢献した人々 (29) — 37

・川村吉宏

活動紹介

日本糖尿病・肥満動物学会の歴史と活動について (森豊)	38
--------------------------------	----

ほんのひとりごと	39
----------	----

連載コラム「特例認定校出身の実験動物技術者紹介」(5)

(小澤直幸)	40
--------	----

日本実験動物学会の動き	41
-------------	----

日本実験動物技術者協会の動き	41
----------------	----

No. 80 令和2 (2020) 年5月1日発行

巻頭言

第67回日本実験動物学会総会に向けて (塩谷恭子)	4
---------------------------	---

連載特集 実験動物としてのラットの有用性 (III)

ラットを用いたオプトジェネティクス (光遺伝学) (八尾寛、深澤有吾ほか)	5
ラット体外受精とゲノム編集 (濱田和弥、森田健斗、本多新)	9
米国で進められているシステム遺伝学プロジェクトのための Hybrid Rat — Diversity Program (滝澤明子、Melinda R Dwinell)	13

連載特集 実験用ブタを巡る情報 (I)

連載にあたって (堤秀樹)	16
実験動物としてのミニブタの有用性 (矢吹慎也)	17

トピックス

畜産・生産獣医療におけるIoT およびAIの活用 (吉岡耕治)	21
------------------------------------	----

研究最前線

異種移植の現状と課題 (霜田雅之)	25
-------------------	----

連載特集 イギリスの一般市民への動物実験に関する情報 発信の状況 訪問調査研究の報告 (II)

英国における動物実験に関する情報公開のための協定 (加隈良枝、久原孝俊、笠井憲雪)	30
--	----

ほんのひとりごと	34
----------	----

海外文献情報

動物の安楽死に関する米国獣医師会 (AVMA) の ガイドライン2020年版 (久原孝俊)	35
--	----

ラボテック 技術紹介

中性高濃度次亜塩素酸水の生成装置 (林元比古、洗暢俊)	37
--------------------------------	----

実験動物技術者試験を受験して (高坂純寧、大河原直、

北本隼也、森下理奈子、石井和樹)	40
------------------	----

読者との対話 LA-house (高倉彰)	43
-----------------------	----

日本実験動物学会の動き /

日本実験動物技術者協会の動き	44
----------------	----

協会だより	45
KAZE (木藤実)	46

No. 81 令和2 (2020) 年9月1日発行

巻頭言

日本実験動物学会の理事長就任にあたって (三好一郎)	4
----------------------------	---

特集 教育セミナーフォーラム2020

先端医療におけるコモンマーマウスの役割	
1. マーマウスの研究利用と供給体制の概況 (井上貴史)	5
2. 飼育繁殖技術、動物実験技術の実践 (齋藤亮一、片貝祐子)	6
3. コモンマーマウス遺伝子操作技術 (佐々木えりか)	9
4. 精神疾患治療薬の研究開発における非ヒト霊長類の有用性 (池田和仁)	10

連載特集 実験用ブタを巡る情報 (II)

豚熱 (CSF) とアフリカ豚熱 (ASF) (山川睦)	12
------------------------------	----

トピックス 実験動物の安楽死の課題

安楽死処置に用いるバルビツール酸誘導体の国内における規制と倫理的問題 (花井幸次、岡村匡史、黒澤努)	17
安楽死処置におけるセコバルビタールの有用性 (赤木佐千子、平山晴子、樺木勝巳)	22

私の研究

動物園動物への遺伝資源保全に対応した橋渡し研究とマンモス (古生物) への応用 (安齋政幸)	27
ゲノム編集による肉厚マダいの生産 (家戸敬太郎)	31

連載特集 イギリスの一般市民への動物実験に関する情報発信の状況 訪問調査研究の報告 (III)

実験動物福祉推進機関NC3Rsと代替法推進機関FRAME (加隈良枝、久原孝俊、笠井憲雪)	35
---	----

読者との対話 LA-house (高倉彰)

海外文献情報 (久和茂)

連載コラム「特例認定校出身の実験動物技術者紹介」(6) (渡邊伶奈)

「第54回日本実験動物技術者協会総会in旭川」の開催中止のお知らせ (清水範彦)

日本実験動物技術者協会の動き

日本実験動物学会の動き

日本実験動物協同組合の動き

協会だより

KAZE (三枝順三)

No. 82 令和3 (2021) 年1月1日発行

巻頭言

年頭のご挨拶 (小山公成)	4
---------------	---

トピックス

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) (田口文広)	5
--------------------------------	---

連載特集 実験用ブタを巡る情報 (III)

実験用ブタの輸送体制 (渡辺康)	9
------------------	---

連載特集 長寿医療研究を支える実験動物技術 (I)

老化・老年病研究における自然老化動物の有用性 (小木曽昇)	14
-------------------------------	----

連載特集 イギリスの一般市民への動物実験に関する情報発信の状況 訪問調査研究の報告 (IV)

オックスフォード大学バイオメディカルサービス (BMS) と王立動物虐待防止協会 (RSPCA) (加隈良枝、久原孝俊、笠井憲雪)	18
---	----

特別寄稿 第67回日本実験動物学会総会を振り返って

(塩谷恭子)	23
--------	----

ラボテック 技術紹介

滋賀医科大学でのスーパー次亜水を用いた実験動物施設の衛生管理 (中村伸一郎、土屋英明)	26
---	----

海外散歩

タンザニア漫遊記 (その1) (山田章雄)	31
-----------------------	----

読者との対話 LA-house (高倉彰)

「会員からの情報」(その1)

一般社団法人予防衛生協会「新設BSL-2対応実習用実験室・研修室の紹介」(藤本浩二)	36
--	----

実験動物の年間販売数調査

新型コロナウイルス感染症拡大に係る影響と対応の

アンケート調査の結果	40
------------	----

ほんのひとりとこと

日本実験動物学会の動き /

日本実験動物技術者協会の動き

令和2年度 (第36回) 実験動物技術者

資格認定試験結果	43
----------	----

令和2年度認定実験動物技術指導員及び準指導員

協会だより

KAZE (森村栄一)

No. 83

令和3(2021)年5月1日発行

巻頭言

第68回日本実験動物学会総会に向けて(今井良悦) — 4

故 光岡知足先生への感謝を込めて(伊藤喜久治) — 5

連載特集 実験用ブタを巡る情報(Ⅳ)

全農の実験動物用ブタと豚熱に対する取り組み
(井口佳那) — 7

連載特集 長寿医療研究を支える実験動物技術(Ⅱ)

老年医学研究における老化動物の解析(野田義博) — 12

研究最前線

動物実験でも使用されはじめたDNAオリガミ法
(葛谷明紀) — 17

ラボテック 技術紹介

新規消毒薬MA-T(要時生成型亜塩素酸イオン水溶液)の
開発 — (安達宏昭) — 22

トピックス

実験動物の技術と応用 入門編および実践編の増補改訂
(八神健一) — 26

動物実験従事者におけるCompassion Fatigueと
その理解の重要性(大沼健太) — 28

米国の動物飼育施設における行動管理プログラムと
動物行動専門家(Animal behavioral specialist)について
(小山公成) — 31

海外散歩

タンザニア漫遊記(山田章雄) — 35

海外文献情報

マウス、ラット、ウサギの表情から動物の苦痛度を評価する
(久原孝俊) — 38

連載コラム 「会員からの情報」(2)

ハムリー株式会社 つくば研究センターのP3施設と感染モ
デルについて(小松原博文) — 40

実験動物技術者試験を受験して(片岡澄玲、加賀三鈴、
坂元奈津子) — 42

日本実験動物学会の動き/

日本実験動物技術者協会の動き — 44

協会だより — 45

KAZE(岡村匡史) — 46

No. 84

令和3(2021)年9月1日発行

巻頭言

第55回日本実験動物技術者協会総会2021 Gifuの開催に
あたって(千原猛) — 4

連載特集 長寿医療研究を支える実験動物技術(Ⅲ)

生体内酸化の亢進と老化との関連を行動実験を通じて
追及する(福井浩二) — 5

連載特集 実験動物としてのゴールデンハムスターの 有用性(Ⅰ)

ゴールデンハムスターの実験動物としての歴史と特徴
(小倉淳郎、廣瀬美智子) — 9

ゴールデンハムスターゲノムと遺伝子(蓮輪英毅、
塩見春彦) — 14

研究最前線

総説: Nanobody(戸高玲子、芳賀慧、片山和彦) — 18

トピックス

長崎大学のBSL-4施設(安田二郎) — 22

連載特集 厚生労働省所管機関における動物実験

厚生労働科学特別研究事業の実施報告(Ⅰ)(山海直) — 26

ラボテック 技術紹介

実験動物飼育管理の自動化に向けての検討とご提案
(山岸義尚) — 30

海外文献情報(久和茂) — 34

論文紹介

アメリカの「動物福祉法」における動物実験規制の位置付け
(笠井憲雪) — 36

読者との対話 LA-house(高倉彰) — 37

連載コラム 「会員からの情報」(3)

動物実験委員会業務受託サービスのご提供について
(紺屋好美) — 38

連載コラム 「特例認定校出身の実験動物技術者紹介」(7)

(澤田唯) — 40

ほんのひとりごと — 41

日本実験動物学会の動き/

日本実験動物技術者協会の動き — 43

日本実験動物協同組合の動き — 44

協会だより — 45

令和3年度認定実験動物技術指導員及び準指導員 — 46

KAZE(新関治男) — 46

巻頭言

年頭のご挨拶(吉川泰弘) ————— 4

連載特集 実験動物としてのゴールデンハムスターの有用性(Ⅱ)

冬眠モデル哺乳類としてのゴールデンハムスター(中川哲、山口良文) ————— 5

連載特集 厚生労働省所管機関における動物実験—厚生労働科学特別研究事業の実施報告—(Ⅱ)

動物実験の実施状況に関するアンケート(牛山明) ————— 9

自己点検、自己評価を促すツールの開発(岡村匡史、津村秀樹) ————— 13

連載特集 実験動物を支える飼料の役割(Ⅰ)

うつ病モデルのストレス感受性と給与飼料の関係性(豊田淳) ————— 17

私の研究 フリーズドライ精子保存法(金子武人) ————— 21

ラボテック 技術紹介

RFID技術を用いた集団飼育環境下全自動マウス行動解析システムIntelliCage(遠藤俊裕) ————— 25

マイクロ超音波イメージング～実験小動物における精密で多彩な超音波エコー検査～(水流功春) ————— 31

動物実験手技訓練用モデルNATSUME RATのリニューアルについて(山岸義尚、佐々木貴大) ————— 34

連載コラム「会員からの情報」(4)

マウスの飼育用アイソレータに用いる自動給水システムの開発について—(加藤昌洋) ————— 38

連載コラム「実験動物技術者紹介」(1)(赤荻誠一郎) — 40

日本実験動物学会の動き/

日本実験動物技術者協会の動き ————— 41

令和3年度実験動物技術者資格認定試験結果 ————— 42

教育セミナーフォーラム2022のご案内 ————— 43

協会だより ————— 44

KAZE(山田章雄) ————— 46

1. 実験動物における行動評価の重要性(小山公成) — 5

2. 動物行動学の基礎(加隈良枝) ————— 6

3. 社会的飼育がマウスの社会性に与える影響およびその評価方法(遠藤のぞみ) ————— 8

4. 動物の表情を用いた疼痛評価(宮部貴子) ————— 9

5. 畜産動物における動物福祉及びその行動評価(佐藤衆介) ————— 10

連載特集 厚生労働省所管機関における動物実験—厚生労働科学特別研究事業の実施報告—(Ⅲ)

代替法の利用の考え方の整理、提案について(高木篤也、塩谷恭子) ————— 12

使用動物の削減のための考え方の整理、提案について(小木曾昇、山海直) ————— 16

関連情報

「動物実験に関する倫理研修用コンテンツ」についての紹介(小木曾昇) ————— 21

研究最前線

COVID-19研究における動物モデルの役割(志和(須藤)希、岩田(吉河)奈織子、坂井祐介、永田典代) ————— 26

ラボテック 技術紹介

サル型実験動物シミュレーター:Mimicky Vessel開発経緯(三協ラボサービス(株)事業推進室) ————— 30

海外文献情報

ネコの表情から苦痛度を評価する(ネコのグリマス・スケール)(久原孝俊) ————— 32

読者との対話 LA-house(高倉彰) ————— 34

ほんのひとりごと ————— 35

連載コラム 「会員からの情報」(5)

北山ラベス株式会社伊那バイオセンター業務紹介(柳川晃宏) ————— 36

連載コラム 「実験動物技術者紹介」(2)(三家本慧) — 38

実験動物技術者試験を受験して(大村優空、吉野あかね、小野恵美、山本理恵、世ノ一さくら、志田萌美) ————— 40

日本実験動物学会の動き ————— 43

日本実験動物技術者協会の動き ————— 44

協会だより ————— 45

KAZE(大和田一雄) ————— 46

巻頭言

第69回日本実験動物学会総会に向けて(三好一郎) — 4

特集 教育セミナーフォーラム2022(Ⅰ)

実験動物における行動評価について

巻頭言

- 第56回日本実験動物技術者協会総会のご案内
（江藤智生）—— 4

特集 教育セミナーフォーラム2022（Ⅱ）

- 実験動物における行動評価について
6. 動物の社会と痛み（菊水健史）—— 5

連載特集 実験動物を支える飼料の役割（Ⅱ）

- 栄養環境依存的な精神疾患モデルマウスの開発を通じた
実験動物飼料の理解（佐久間敦丈、新保裕子、平井志伸） 8

連載特集 実験動物の再利用について（Ⅰ）

- 動物福祉とreductionの観点から総論として
（國田智）—— 12

研究最前線

- 父親マウスの養育行動を引き出す神経回路の変化
（稲田健吾、宮道和成）—— 16

トピックス

- EUにおける動物実験規制をめぐる議論：欧州市民発議
（European Citizens Initiative, ECI）と動物実験
（本庄萌）—— 20
動物実験の禁止をめぐるスイスの国民投票
（磯部剛仁）—— 24
AVMA動物の安楽死指針：2020年版の解説（岡村匡史、
森松正美、浅野淳）—— 27

ラボテック 技術紹介

- 実験動物への「体内埋め込み式運動量/温度計測装置
nano tag[®]」の紹介（田口勇次郎）—— 31
3Rs×実験効率の向上にマウス尾静脈シミュレーターの開発
（栢本直行、村上誠、浜野真梨子）—— 34

海外文献情報

- 行動と生理に関するビッグデータから読み解くマウスの「老い」
（久和茂）—— 38

連載コラム「会員からの情報」（6）

- ORIENT BIO社製MSRS IIIについて（金子哲也）—— 40

日本実験動物学会の動き/

日本実験動物協同組合の動き —— 42

日本実験動物技術者協会の動き —— 43

令和4年度認定実験動物技術指導員/

ほんのひとりごと —— 44

協会だより —— 45

KAZE（木藤実） —— 46

巻頭言

- 年頭のご挨拶（福田勝洋）—— 4

連載特集 実験動物を支える飼料の役割（Ⅲ）

- 動物実験における時間栄養学の考え方と応用
（柴田重信）—— 5

連載特集 実験動物の再利用について（Ⅱ）

- 実験動物繁殖施設における再利用（高木久宜）—— 9
創薬研究におけるイヌ・サル再利用について
（小山公成）—— 13

特集 動物実験におけるデジタルトランスフォーメーション

- 実験動物の心を読む：機械学習を用いた動物行動解析
（小林幸司、村田幸久）—— 18
実験動物業界へのDX技術普及を目指して！ AIによる分娩報
知システム、ARK Checker[®] Rodent monitor（Birth）の
開発と応用（川辺敏晃、喜多章太、井上聖也）—— 23

トピックス

- 愛玩動物看護師の国家資格化について（古本佳代）—— 27

海外文献情報

- 国際的共同研究の基盤となる統合的な動物実験倫理原則
（久和茂）—— 32

特例認定校の指導方法の紹介（1）

- 群馬県立勢多農林高等学校（楠真由美）—— 34
静岡県立田方農業高校（小長井稜介）—— 35
東京医薬看護専門学校（池田義則、持田和夫）—— 35
東京バイオテクノロジー専門学校（永井武）—— 36
広島アニマルケア専門学校（矢田範夫）—— 37

連載コラム「会員からの情報」（7）

- 霊長類動物用セーフティーヘッドギア「アストロ」の紹介
（新井伸哉）—— 38

読者との対話 LA-house（高倉彰）—— 40

連載コラム「実験動物技術者紹介」（3）

- 実験動物技術者および指導員としての想い
（佐野典康）—— 41

日本実験動物学会の動き/

日本実験動物技術者協会の動き —— 42

令和4年度実験動物技術者資格認定試験結果 —— 43

協会だより —— 44

KAZE（三枝順三） —— 46

巻頭言

- 第70回日本実験動物学会総会に向けて（杉山文博）—— 4
 日本実験動物技術者協会の理事長就任にあたって
 （中野洋子）—— 5

特集 教育セミナーフォーラム2023

- テーマ：新しい分子生物学技術を用いた生体機能解析
 化学遺伝学・DREADD法と生体機能解析への応用
 （比嘉なつみ、奥野浩行）—— 5
 In utero遺伝子導入法について（田川義晃）—— 8
 ゲノム編集マウス作製を全て体内で可能な新規法i-GONAD
 （佐藤正宏）—— 10

連載特集 実験動物の再利用について（Ⅲ）

- ビーグルのRehoming（安倍宏明、石川玄）—— 13
 研究に使用された動物のリホーミングガイドライン：
 動物の世話と使用に関与する施設と個人向け
 （James T Pearson）—— 16

トピックス

- 「神経科学分野における霊長類を対象とする実験ガイドライン」の目的と解説（中村克樹）—— 19
 パルスパワーによるアニサキスの不活性化とパルスパワーで
 処理したアジ肉の品質評価（鬼塚千波里、浪平隆男）—— 23

私の研究

- ゲノム編集による遺伝子改変オポッサムの作製
 （清成寛）—— 27

ラボテック 技術紹介

- 動物実験施設における核酸分解可能な気相式除染システム
 の導入とその運用（小木曾昇ら）—— 31

海外文献情報

- ハンドリングや実験処置がマウスに及ぼす影響について考える
 （久和茂）—— 36

海外散歩

- コロナ禍に地球の裏側に行ってみた（その1）
 （山田章雄）—— 38

ほんのひとりごと

特例認定校の指導方法の紹介（2）

- 湘央生命科学技術専門学校（花輪俊宏）—— 41

- 実験動物技術者試験を受験して（末廣真奈、鹿野貴紗子、
 犬塚千嘉、山本貴博）—— 42

日本実験動物学会の動き/

日本実験動物技術者協会の動き

協会だより

巻頭言

- 第57回日本実験動物技術者協会総会（福島大会）のご案内
 （石橋崇）—— 4

連載特集 実験動物の再利用について（Ⅳ）

- チンパンジー・サンクチュアリの日米の歴史（平田聡）—— 5

解説

- 我が国のアカデミア発創薬研究とAMED iD3
 キャタリストユニットの活動と使命（堀正敏）—— 9

トピックス

- 動物の致死処置に関わる市民意識調査 報告レポート
 （打越綾子）—— 14

海外技術情報

- マウスのハンドリングが行動に与える影響と福祉的な
 ハンドリング法の実践（野田義博）—— 22

ラボテック 技術紹介

- 小動物飼育用個別換気ケージラックにおけるヘルスモニタ
 リング方法の検討（佐古典久、中村孝博）—— 27
 株式会社ケー・エー・シーの実験動物に関する教育研修・
 教育教材の紹介（天野真理子、谷口佳史）—— 31

海外散歩

- コロナ禍に地球の裏側に行ってみた（その2）
 （山田章雄）—— 35

連載コラム Member's Voice（8）

- 一般財団法人 動物繁殖研究所 選抜交配糖尿病モデル
 Oikawa-Nagao (ON) マウス
 （長尾元嗣、及川眞一）—— 40

連載コラム 実験動物技術者紹介（4）（一ツ町知明）

日本実験動物学会の動き/

日本実験動物技術者協会の動き

日本実験動物協同組合の動き

協会だより

令和5年度認定実験動物技術指導員及び準指導員

KAZE（岡村匡史）

No. 91

令和6（2024）年1月1日発行

巻頭言

年頭のご挨拶（黒木宏二） ————— 4

解説

in vivoとin vitroによる統合的な医薬品評価と今後の展望
（諫田泰成）————— 5

医薬品におけるGood Laboratory Practice (GLP) 調査
について（柴田進和、染谷仁）————— 9

トピックス

コモンマーマセットの遺伝的多様性を守るための国際協力
（佐々木えりか、黒滝陽子）————— 14

マウス用個別換気飼育 (IVC) システムにおける蟻虫感染事例
（土佐紀子）————— 17

質の高いゲノム編集マウス作製を支援するKOnezumi、
DAJINの開発（久野朗広）————— 22

海外散歩

韓国済州島とAFLAS2023（林元展人）————— 26

連載コラム Member's Voice (9)

ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン（株）NSG™マウスを
用いた免疫系ヒト化モデルの紹介（オケヨ ケネディ、
内田あや）————— 30

読者との対話 LA-house（林元展人）————— 34

ほんのひとりごと————— 35

連載コラム 実験動物技術者紹介 (5)（成島光恵）————— 36

日本実験動物学会の動き/

日本実験動物技術者協会の動き————— 37

実験動物の年間販売数調査————— 38

令和5年度実験動物技術者資格認定試験結果————— 40

日動協：教育セミナーフォーラム2024のご案内————— 41

日動協の通信教育と各種研修会について————— 42

協会だより————— 44

KAZE（久和茂）————— 46

2. 実験動物ブリーダー施設の考える動物福祉 — 生産従事
者の視点における動物数削減のための取り組み —（櫻井
宏樹）

3. 実験動物福祉への対応 — 実験技術動画教材利用による
動物福祉への貢献 —（天野真理子）

4. 家畜のアニマルウェルフェアに関する新たな国の指針に
ついて（眞壁七恵）

解説

法獣医学の重要性と現状（田村豊）————— 10

実験動物学と法学の対話 — 人間と動物は「なにもの」か —
（吉田聡宗）————— 13

連載企画 マウス・ラット生殖技術の新時代

～課題を解決し、職人技から誰でもできる技術へ～ (I)

人工偽妊娠誘起法開発までの道のり（金子武人）————— 20

ラボテック 技術紹介

偽妊娠ラット作製器具 ～ EGET ～ の紹介（永井類、
小川哲平）————— 23

実験動物としてのメダカの基礎 — その取り扱いと実技 —
（成瀬清）————— 27

私の研究

子牛下痢症を引き起こす寄生虫の感染地推定法の確立と薬
剤探索（村越ふみ）————— 32

書籍紹介

フレックネル実験動物の麻酔と鎮痛 第5版
（笠井憲雪）————— 36

読者との対話 LA-house（林元展人）————— 38

ほんのひとりごと————— 39

連載コラム 実験動物技術者紹介 (6)（蛭田めぐみ）————— 40

実験動物技術者試験を受験して

（松永隼人、石幡響、野田眞凜、香取里紗）————— 41

日本実験動物学会の動き/

日本実験動物技術者協会の動き————— 44

協会だより————— 45

KAZE（新関治男）————— 46

No. 92

令和6（2024）年5月1日発行

巻頭言

第71回日本実験動物学会総会に向けて（浅野雅秀）—— 4

特集 教育セミナーフォーラム2024 (I)

実験動物福祉への対応 — その現状と課題 — ——— 5

1. 日動協の実験動物福祉に関する取り組みの現状と課題（畔
上二郎）

No. 93

令和6（2024）年9月1日発行

巻頭言

（公社）日本実験動物協会の会長に就任して（久和茂） — 4

（公社）日本実験動物協会の常務理事に就任して

（櫻井保）————— 5

第58回日本実験動物技術者協会総会2024北九州に向けて
(中村直子) ————— 6

特集 教育セミナーフォーラム2024 (II)

実験動物福祉への対応 — その現状と課題 —

5. 実験動物福祉の今後の課題 (三好一郎) ————— 7

連載企画 マウス・ラット生殖技術の新時代

～ 課題を解決し、職人技から誰でもできる技術へ ～ (II)

エレクトロポレーション法を用いた遺伝子改変動物作製法 (テイク法) の開発と実際 (金子武人) ————— 10

連載特集 動物施設震災危機管理update (I)

連載特集にあたり (高橋智輝) ————— 13

東北大学大学院医学系研究科附属動物実験施設における
災害対策 (原田伸彦) ————— 17

私の研究

i-GONAD法を用いた自己免疫疾患モデルとなる近交系マウスでの簡便な標的遺伝子改変 (角田茂、烏音嘎) ————— 22

最長寿命歯類ハダカデバネズミの発がん耐性・老化耐性研究
(河村佳見、岡香織、三浦恭子) ————— 24

海外散歩

ソルトレイクシティ・AALAS 2023に参加して
(黒木宏二) ————— 29

珍虫ハンターとしての海外旅行記 その1 (佐藤勝) — 32

海外文献情報

親の経験はどこまで遺伝するのか? (岡村匡史) ————— 36

読者との対話LA-house (林元展人) ————— 38

連載コラム 実験動物技術者紹介 (7) (石原すみれ) — 39

日動協の微生物モニタリング検査教材と実技研修会の紹介
2024年度編 ————— 40

実験動物技術者認定資格試験制度の改定について — 42

ほんのひとりごと ————— 42

日本実験動物学会の動き/

日本実験動物技術者協会の動き ————— 43

日本実験動物協同組合の動き ————— 44

協会だより ————— 45

KAZE (山田章雄) ————— 46

No. 94

令和7 (2025) 年1月1日発行

巻頭言

年頭のご挨拶 (木本重信) ————— 4

(公社) 日本実験動物学会理事長に就任して
(小倉淳郎) ————— 5

第72回日本実験動物学会総会に向けて (長尾静子) — 6

連載企画 マウス・ラット生殖技術の新時代

～ 課題を解決し、職人技から誰でもできる技術へ ～ (III)

精子フリーズドライ保存法の開発と応用 (金子武人) — 7

連載特集 動物施設震災危機管理update (II)

東日本大震災での教訓はその後の地震で生かされたか —

福島県立医科大学実験動物施設の場合 — (小澤和典) — 10

札幌医科大学医学部動物実験施設における災害対策

(宮下早奈枝) ————— 14

実験動物技術者の教育認定 実務担当回顧譚

(大和田一雄) ————— 18

連載特集 3Rsの進展に寄与する動物実験技術における

DX (I)

背景データ活用によるバーチャル対照群の毒性試験への導入
(佐藤玄) ————— 24

実験動物・非臨床研究分野におけるAI病理

(松本泉美) ————— 27

ラボテック

マウス尾静脈自動注射システム ～ AUTiv™ (オーティヴ) ～
(小川哲平、永井類ら) ————— 31

高効率な多視点マーカーレス動物歩行解析のための全自動
歩行動画収集システム (塩野鈴佳、遠藤俊裕) ————— 37

令和6年度実験動物技術者資格認定試験結果 ————— 41

海外文献情報

12Rsから成る動物研究倫理の枠組み (久和茂) ————— 42

日本実験動物学会の動き/

日本実験動物技術者協会の動き ————— 44

協会だより ————— 45

実験動物2級技術者資格認定試験内容の変更に関する

お知らせ ————— 46

KAZE (三枝順三) ————— 46

No. 95

令和7 (2025) 年5月1日発行

巻頭言

日動協創立40周年を迎えるにあたって (外尾亮治) — 4

オピニオン

動物実験代替法と動物実験 ～ 毒性学の視点から ～

(高橋祐次) ————— 5

特集 教育セミナーフォーラム2025

あらためて人道的エンドポイントを考える (I)

1. 人道的エンドポイントに関する概説 (西銘千代子) — 9

2. 毒性試験における人道的エンドポイントの考え方

(武井信貴子) ————— 11

連載企画 マウス・ラット生殖技術の新時代

～ 課題を解決し、職人技から誰でもできる技術へ ～ (IV)

生殖技術を活用したラット研究のこれから (金子武人) — 13

連載特集 3Rsの進展に寄与する動物実験技術における

DX (II)

適正な動物実験に関するe-learning動画教材の3Rsへの

貢献 (天野真理子) ————— 16

DXを活用した施設運営とホームケージモニタリング

(田中佑昌) ————— 20

ラボテック

実験動物技術における3Rsの推進・向上に寄与するデジタル技術

非接触式バイタル測定器、RVS (Rodent Vital signs

Sensor) の開発 (川辺敏晃、瀬崎華芳、井上聖也) — 24

連載特集 動物福祉を探究する新たな視点

～こんなところにも動物福祉～ (I)

本連載の企画意図について (中野洋子) ————— 27

実験動物ブリーダーの苦悩 ～ 動物福祉とユーザーの

ニーズ、両立の模索 ～ (後藤洋平) ————— 28

書籍紹介

動物行動図説 ― 産業動物・伴侶動物・展示動物・実験動

物 ― (天野真理子、小山公成、佐々木宣哉) ————— 32

海外散歩

珍虫ハンターとしての海外旅行記 その2 (佐藤勝) — 34

連載コラム Member's Voice (10)

(一社) 予防衛生協会 実験動物高度技術者養成講習会

(サル類) の紹介 (松田優一) ————— 38

読者との対話 LA-house (林元展人) ————— 40

第40回実験動物技術者資格認定試験

1級・2級試験の成績優秀者 ————— 41

実験動物技術者試験を受験して (今井愛心、黒木颯、

山口昇太、城戸彩衣、林茜) ————— 41

日本実験動物学会の動き/

日本実験動物技術者協会の動き ————— 44

協会だより ————— 45

KAZE (森村栄一) ————— 46

No. 96

令和7 (2025) 年9月1日発行

巻頭言

第59回日本実験動物技術者協会総会in山陰米子に向けて

(三上崇徳) ————— 4

協会創立40周年記念式典・祝賀会 (櫻井保) ————— 5

特集 教育セミナーフォーラム2025

あらためて人道的エンドポイントを考える (II)

3. 薬効薬理試験における人道的エンドポイントの考え方

(金児佳生) ————— 7

4. アカデミアの視点から見た遺伝子組換え動物の

人道的エンドポイント (伊藤拓哉) ————— 8

5. 動物飼育管理の立場から考える人道的エンドポイント

(田中大介) ————— 10

6. 教育セミナーフォーラム2025を終えて (小山公成、

久和茂) ————— 11

連載特集 動物福祉を探究する新たな視点

～こんなところにも動物福祉～ (II)

畜産分野における動物福祉の捉え方と実現方法

(新村毅) ————— 13

家畜のアニマルウェルフェア畜産協会の認証制度

(瀬尾哲也) ————— 18

解説

実験動物の苦痛を可視化する「グリマススケール」:

ケージサイドからのアプローチとその未来への展望

(大沼健太、渡邊正輝、佐々木宣哉) ————— 22

トピックス

動物の致死処置に関する専門家意識調査 報告レポート

(打越綾子) ————— 27

海外散歩 珍虫ハンターとしての海外旅行記 その3

珍虫ハンターの集大成 (佐藤勝) ————— 34

読者との対話 LA-house (林元展人) ————— 39

海外文献情報

ペントバルビタールの供給不足からの教訓 (岡村匡史) — 40

連載コラム 実験動物技術者紹介 (8)

他業種からの挑戦 (橋立幸弥) ————— 42

日本実験動物学会の動き/

日本実験動物技術者協会の動き ————— 43

日本実験動物協同組合の動き ————— 44

協会だより ————— 45

令和7年度認定実験動物技術指導員及び準指導員 — 46

KAZE (岡村匡史) ————— 46

